

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	手技療法 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎3階実技室
担 当 教 員	川村 智広	実務経験と その関連資格	2011年から2022年まで、鍼灸接骨院の院長として勤務。 柔道整復師、柔道整復師専科教員、鍼灸師、日本スポーツ協会公認アスレティック トレーナー、講道館柔道初段			
《授業科目における学習内容》						
社会学の座学と、実践で使える手技療法。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編第7版、柔道整復学・実技編第2版(南江堂)						
《授業外における学習方法》						
授業で履修した内容の復習をすること						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師の施術における手技療法の基礎を習得すること。授業開始時の白衣着用は必須となっています。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の施術における手技療法の基礎を習得する	配布資料	講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	一般手技の知識と実技			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	足裏の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	足裏			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	下腿			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿後面の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	大腿後面			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	殿部の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	殿部			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿後面の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	大腿後面		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	前半に習得した手技療法の確認	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	前半復習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰部の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	腰部		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩甲骨周囲の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	肩甲骨周囲		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	肩部		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	頸部の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	頸部		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿前面・大腿前面の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	下腿前面・大腿前面		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩周囲・首の手技療法を習得する	配布資料	講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	肩周囲・首		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	全講義の履修内容を確認し不明点を確認する	配布資料	履修内容全範囲の確認をすること。
		各コマにおける授業予定	全実技の理解度の確認を行う		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	履修した部位の手技療法ができるようになる	配布資料	解剖学的構造を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定	全実技の理解度の確認を行う		